

コンセプトをもとに「つながる学校図書館」をつくる。

平成24年度

1. 現状把握

・職員

・学校プロフィールの整理(特色・カリキュラム・部活動)

・図書館(設備面)

・生徒、教職員の性質

・蔵書構成

・図書館利用状況の分析

・予算

・学校教育、事業における図書館の位置づけ

2. ニーズの掘り起こし

そもそもニーズとは…

need(名)

- ① 必要
- ② 要求
- ③ 不足・欠乏

『ライトハウス英和辞典』より

利用者ニーズ

○利用者の要求、好みは？

- ・生徒
- ・教職員(教育活動含む)

○利用者に不足している要素、図書館からの支援が必要な部分は？

- ・生徒
- ・教職員(教育活動含む)

学校ニーズ

○学校の校風、学校組織の中で求められる図書館のあり方は？

○学校に不足していると感じる要素、学校組織に対して図書館から支援が出来ることは？

3. コンセプトの設定

そもそもコンセプトとは…

- ① 概念。観念。
- ② 創造された作品や商品の全体につらぬかれた、骨格となる発想や観点。

コンセプト設定のポイント

- ・図書館の「売り」は何か(利用者は何を提供するのか)
- ・学校の中でどのように図書館を位置づけるのか = 何を指すのかを明確にする
- ・コンセプトを設定したら、学校内で語り、意見調整を行うことが必要。それをもとにさらにコンセプトをよく練る。

○コンセプト

4. コンセプトをもとにした 図書館づくりをイメージする

○コンセプトに基づいて学校図書館空間をイメージする

・空間としてのイメージは？

・イメージカラーは？

・利用のされ方は？

・シンボル、キャラクターなどは？

○コンセプトに基づいて行うには？方法論、目標など

・レイアウト

・選書

・蔵書構成

・配架

・教科との連携

・図書委員会活動

・その他

5. 評価

貸出数、アンケート結果、利用状況などをもとに、再度現状把握、ニーズの整理、そして次のコンセプトへ…。

コンセプトをもとに今年の図書館をアピールするキャッチコピーを考える。

今年度の図書館のテーマを簡潔に。

コンセプトのイメージをもとに「図書館3ヶ年計画」をたてる。

3年後の図書館のイメージ＝

1. 長期的な見通し・予定

図書館の引っ越しや図書館全体についての見直しなど。

2. To do(すること)リストとそのための準備・方法など

予定していたことが達成できたら四角(□)にチェックを入れる。

3. 評価

貸出数、アンケート結果、利用状況などをもとに、再度現状把握、ニーズの整理、そして次のコンセプトへ…。

□=To do(すること) ○=達成するための準備・方法など

○24年度 コンセプト:

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

○25年度 コンセプト:

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

○26年度 コンセプト:

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |